



長縄跳び、跳べるようになったよ！

# わっくつ

～明るく かしこく たくましい子ども～

回覧

令和6年度  
滝沢市立柳沢小中学校  
校報 第17号  
令和6年12月12日  
文責：小野寺

## 味の種類はいくつあるの？

～小学校「味覚の授業」～



11月22日（金）2校時から3校時に滝沢市農林課のご協力をいただいて、小学校5・6年生が「味覚の授業」を行いました。直接、講師としてご指導いただいたのは盛岡市藪川にある、安俱里まほら岩手（あぐりまほらいわて）のパティシエ、瀬川徹さんとホテルメトロポリタンで西洋料理を担当する佐々木直人さんでした。

2校時は教室で瀬川さんから「味」について教えていただきました。舌で感じる味には「甘い」、「しょっぱい」、「酸っぱい」、「苦い」、「うまい」の5種類があるそうです。ちなみに辛いのは皮膚で感じる刺激なので、この場合、ちょっと別格なそうです。「しょっぱい」食材を代表して塩をなめ、「甘い」を代表する食材として滝沢市産の茹でたサツマイモを食べるといったように、滝沢産を中心に、食材を通してそれぞれの味を確認しました。食材を通して料理を作る時・食べる時の「味」の大切さを学びました。

3校時目は家庭科室で佐々木さんからイタリア料理のニョッキの作り方を教わりました。ニョッキ

はジャガイモ、小麦粉、卵を使って作られるもので、生地を手でこねて小さな団子に成形し、茹でます。ニョッキ自体は、マカロニのイメージに近いのですが、今回は茹でたニョッキに美味しい野菜の入ったホワイトクリームのソースで味付けし、美味しくいただきました。こねたり、茹でたり、炒めたりといろいろと手間がかかりましたが、できあがったニョッキは野菜のあまさと、濃厚なホワイトクリームの味が調和してとてもおいしかったです。

滝沢市には新鮮な野菜や牛乳といった美味しい食材があり、豊かな食生活のための環境が整っていること、そして色々な「味」を意識しながらたべることが大事と教えていただきました。

なお、今回講師を務めた佐々木さんは滝沢市大釜の出身で、小中学校で食べた給食があまりに美味しかったので、調理師を目指すことにしたのだそうです。普段の食事が人生を変えることがある、そんなお話を聞くことができたことも素晴らしい経験になりました。

### やなぎっこ、柳中生のがんばり

#### 滝沢市社会福祉作文コンクール

優秀賞「だれでもできるよ」小3年 新井想馬

佳作「みんなでできるよ」小1年 横田風音

佳作 「しょうがいのある人と」

小3年 佐藤花楠

#### 令和六年度全国中学生人権作文コンテスト

#### 岩手県大会

奨励賞 中2年 櫻井 七海

#### 第15回「いっしょに読もう！新聞コンクール」

（日本新聞協会主催）

〈岩手賞：個人〉優秀賞 小5年 大峠 朝陽

〈岩手賞：学校奨励賞〉 滝沢市立柳沢小学校

## いくつになっても、からだは大事！

12月5日（木）、学校保健委員会が開かれ、引き続き、保健講話が開催されました。教職員、PTA会員、小学校5・6年生の児童と中学生が参加しました。講師は学校内科医の山口淑子先生でした。

今回の保健講話のテーマは「生活習慣病とがん予防」。がんと言っても主な種類だけで5種類あり、その中でも死亡率1位は肺がんであること、その主な原因は喫煙であることが紹介されました。そしてがん対策には定期的な健康診断や検査等が大切であることを強調されていました。早期に発見できれば放置しない限り「**治る病気**」になっているそうです。



一方で生活習慣病は、昔は「成人病」と呼ばれた時期もありましたが、今は年齢に関係なく、**不適切な習慣**のよっておきる症状です。具体的な症状としては高血圧、脂質異常症、糖尿病、がん等があります。これらの病気にならないためには正しい健康習慣を心がけ、肥満や喫煙等を避けるようにすることが大切とのお話でした。一生、健康で過ごせるように**若いうちからの節制**がポイントのようです。みんなで心がけたいものです。

（もう少し詳しいお話は12月10日付「学校保健委員会だより」をご参照ください。）

## 中学校最後の調理実習



12月6日（金）、中3にとっては最後の家庭科・調理実習で「餃子」を作りました。レシピを参考に餡を調整し、皮につめて焼きました。とても美味しくできたそうです。

## 今は真っ白だけど……。



令和5年度の防衛省交付金事業により本校の遊具が更新されました。特にブランコは人気集中で夏の暑さの中でも順番待ちをして遊ぶ子供たちの様子がありました。今は真っ白い雪の中でひっそりとしていますが、早く元気に遊べるようになると良いと思います。（写真は9月の様子です。）

## 「お手伝い」は、嬉しいです



12月10日（火）、小学校低学年教室で「お手伝い発表会」がありました。「お手伝い大作戦」として自分が決めて取組んだお手伝いのようすと感想を発表し合いました。人に伝える事の大切さを学ぶための学習でしたが、「豆腐の厚さは1センチくらいに、」等のように、児童の皆さんは表現を工夫して説明をしていました。保護者の方にも聞いていただきましたが、とてもわかりやすく、みんなの頑張りがよく伝わったと思います。

「お手伝い大作戦」はひとまず終了ですが、これからも家で何かのお手伝いができるとうれしいと思います。